

大高同窓会報

発行
千葉県立大多喜高等学校同窓会
 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
 〒298-0216 TEL 0470-82-2621
 URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
 E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp
 印刷 (株) サラト
 姫路市北条宮の町172番地
 TEL 079-284-1380



立 葵

千葉県立大多喜高等学校 同窓会長 山口 登

大多喜高等学校同窓会会員の皆様におかれましては、益々御健勝で、様々な分野において御活躍のことと心よりお慶び申し上げます。また本同窓会の運営に御協力、御指導いただいておりますことを御礼申し上げます。

さて、今年前半を振り返りますと、まず、千葉県が誇るプロ野球読売ジャイアンツ終身名誉監督長嶋茂雄氏の国民栄誉賞受賞がありました。長嶋氏といえば天賦の才能で活躍したヒーローとお思いの方も少なくありませんが、周囲の方の証言によれば「努力の天才」との異名があるほどの大変な努力家だったとのこと。国民栄誉賞授賞式は安倍総理の計らいで東京ドームにおいて多くのファンの前で催されましたが、不自由な身体ながら背筋を伸ばした姿は往年を彷彿とさせるものでした。また、同時受賞の松井秀喜氏が、常に長嶋氏を気遣い、数歩後ろに付き従いながら要所で長嶋氏の介添えをする姿は、美しい師弟の姿として眼に焼き付けられました。

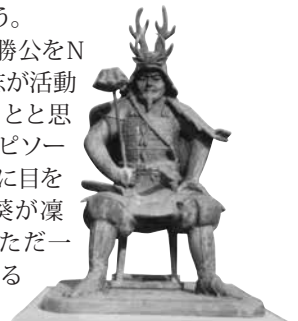
また、冒険家三浦雄一郎氏の80歳でエベレスト登頂も強く印象に残りました。前回75歳で登頂した時の「涙が出るほど、つらくて、厳しくて、うれしい。」との発言は、奥深い味わいがあります。では、三浦語録をいくつか御紹介します。「成功を信じ進むには絶対あきらめないという執念が大事。」「夢をあきらめることが人間にとって最も無理をしている状態。」「人間はいくつになっても可能性がある。」「一番大事な

のはやる気と体力。」「くよくよしたら身体を動かす。」「老いは怖くない、目標を失うのが怖い。」等等。三浦氏は身体も心も鍛練された方と敬服致します。

次に印象に残ったのは、富士山の世界文化遺産登録です。審査会では一委員から「なぜ今まで登録されなかったのか」旨の発言があり、私も深く頷いたところで。言うまでもなく富士山は、日本人の「清く正しく」という理想の精神を具体化したような端正な佇まいがあり、また、自然への畏敬を抱かせる象徴としても、いつまでも大切にしたい、我が国のそして世界の宝です。

さらに、この会報が出される頃には、東京の二度目のオリンピック開催が決まっているのではと夢見る昨今です。前回は戦争からの奇跡の復興、そして今回は東日本大震災からの復興を、世界の皆様に御報告したいと意気込むのは、私だけではないでしょう。

最後に地元の話。本多忠勝公をNHK大河ドラマにしようとする地元の有志が活動していますが、大変すばらしいことと思います。勇猛ぶりを示す数々のエピソードを思い出しつつ、車からふと外に目を移すと、本多家の家紋である立葵が凛と咲いている姿が旗印を掲げ、ただ一騎、馬上から敵の配置を窺っているようでした。



大多喜高校に着任して

千葉県立大多喜高等学校長 石川 和之

同窓の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。この4月に伝統ある大多喜高校に着任し、身の引き締まる思いであるとともに、皆様と力を合わせて、本校を盛り立てていきたいと考えています。どうか、よろしく願います。

明治時代後期、19世紀最後の年、日清戦争をはさんで企業

勃興を成し、激動の20世紀に向かっていく明治33年、千葉県立大多喜高等学校は、産声をあげました。「百年史」によれば、初代校長である村上孚光先生は、江戸時代の安政5年の生まれです。この年は井伊直弼の大老就任、修好通商条約の調印、13代将軍家定の死と14代将軍家茂の就任、安政の大獄の始まりなど、幕末の中でも大きな分岐点となりました。これだけでも、大多喜高校の歴史の重みをひしひしと感じずにはい

られません。

同じく「百年史」にある村上孚光先生の御息女、土屋玉子氏談話によれば、「父は、大多喜は千葉県でも一番立派な城下町だから、そういうところに学校を造らなくてはならない、と言っていました。」単に、本多家などの業績や立派な城郭、街並みだけではありません。この地域で長い間培われてきた風俗・風土、人情などは、世界に誇れるものであり、昨今の教育課題の大きな柱である「豊かな心の育成」には、もってこいの環境だと確信しております。

さて、今年度も『大中至正』の校訓のもと、学校教育目標として『至誠純真』『進取向上』『自主協同』を掲げ、学校運営に取り組んでいます。具体的には、「心の教育」を第一の柱として、

- (1)向上心を常に持ち、学習や特別活動、部活動等に取り組む生徒
- (2)困難に負けずに、自分の道を切り開いていく生徒
- (3)他者を尊重し、思いやることのできる心豊かな生徒
- (4)地域を愛し、様々な活動を通じて、地域に貢献できる生徒

(5)チャレンジ精神に溢れる生徒

(6)「ありがとう」と素直に言える生徒

このような生徒の育成を目指しています。そのためには、保護者、地域社会、関係機関等の御支援が不可欠です。とりわけ、同窓の皆様には、地域を中心に様々な場面で、後輩をサポートしていただければ幸いです。皆様と連携して、家族を愛し、母校を愛し、地域を愛し、社会に貢献できる素晴らしいハートを持った大高生の育成に取り組んでいければ最高です。

そのためには、説明責任も果たさなければなりません。折に触れて、大多喜高校の情報を広く発信し、皆様の御理解・御協力が得られますよう努力していきます。私も拙いものですが、本校ホームページに「校長室だより」なるサイトを開設し、生徒の活動を中心に、学校の様子をお伝えしています。キーワードは、「応援してるよ!大高生」です。どうか、本校ホームページを御覧ください。

終わりに、同窓会がますます発展し、今後も本校から多くの有為な人材が輩出されることを祈念して挨拶とさせていただきます。

大多喜城豆知識

『大中至正』碑



王陽明「伝習録」に典拠する。明治33（1900）年創立の旧制中学校開校以来、昭和の戦前に至るまで新入生全員に配られた「學規」の文言に含まれていた。

碑は、昭和46（1971）年1月創立70周年記念として建立。

平成5（1993）年に校訓とした。

『大井戸』



多くの武士が生活する城内にあっては、水の確保は重要である。大多喜城内に、大小25あった井戸の一つ。この二の丸にある大井戸は、周囲17メートル、深さ20メートルあり日本一の大きさといわれている。天正18（1590）年本多忠勝が築城した時に掘られた。明治29（1896）年、旧大多喜藩主をはじめとする旧藩士により「大井碑」が建立され、大井戸が永遠に残るようにとの願いが刻まれている。

支部・OB会だより

女子高支部

女子高支部では5月26日（日）に大多喜高校会議室にて石川和之校長、斎藤真一同窓会事務局長を来賓としてお迎えし、40名の出席を得て総会を開催しました。石川校長先生より伝統ある高校への着任、「豊かな心の育成」として心の教育を大切に生徒を育ててゆきたいとのお話があり、事務局斎藤先生からは、進路状況、学習指導、部活動での活躍等の報告がありました。総会では24年度事業報告、決算の承認等、25年度事業計画案、予算案が審議され原案どおり承認されました。

た。総会終了後は自己紹介を兼ねての昼食、午後のアトラクションでは「アコーディオンいちばら」の皆さんによるアコーディオン演奏と歌声を実施しました。卒業生の鈴木廣子さんを含め9名の方々のアコーディオン演奏にあわせて合唱。1曲ごとにユーモアたっぷりのお話して笑ったり、しみりしたり、特に震災応援ソング「花は咲く」外2曲はご指導いただきながらの歌声で、変化に富んだ楽しい一時を過ごしました。出席された方々には来年を楽しみに笑顔で散会しました。

サッカー部 OB 会 第12回大多喜町近隣少年サッカー大会を開催

12月16日（日）、晴れ渡った冬空の下、大多喜町海洋センター多目的広場において第12回大多喜町近隣少年サッカー大会が開催されました。

この大会は、子供たちにスポーツ実践の機会を与え、体力・技術の向上とスポーツ精神の高揚、そして学区を越えて友達の輪を広げることを目的に大多喜高等学校サッカー部OB会が毎年主催しているものです。

今回の大会は、大多喜町から2チーム、いすみ市から10チーム、御宿町から2チーム、勝浦市から1チームそして茂原市から1チームの合計16チームにより熱戦が繰り広げられま

した。

試合結果は、過去3回の優勝実績をもつ大原FCが順当に勝ち進み前大会に引き続き4度目の優勝を飾りました。

また準決勝でPK戦を制し決勝戦に臨んだ御宿FCが第2位、チーム力で臨んだFC長者が第3位に輝きました。

ピッチで活躍する子供たちのプレーに応援するご家族の熱い思いが歓声となって広場に轟いていました。

（大多喜高等学校サッカー部OB会長 渡辺八寿雄）



平成24年度 同窓会総会報告

平成24年度の総会は、平成24年10月28日（日）に、勝浦ホテル三日月にて出席者65名のもと開催されました。慎重審議の上、定例の議案について承認されました。以下に、23年度会計報告を掲載させていただきます。なお賛助金とは、皆様方から1口1,000円で集めております任意の同窓会報発行維持費と広告料を合わせたものです。

平成23年度 同窓会決算報告書

● 一般会計

平成24年3月31日現在

1 収入支出対照表		本年度収入総額		本年度支出総額		本年度残額		説明	
		5,357,728円		2,476,888円		2,880,840円		翌年度へ繰越	
2 収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		比 較		説 明	
				増	減				
	繰越金	2,771,785円	2,771,785円	0円	0円			平成22年度繰越金	
	会費	0円	0円	0円	0円				
	入会金	930,000円	930,000円	0円	0円			5,000円×186名	
	賛助金	2,000,000円	1,601,310円	0円	398,690円			同窓会報発行賛助金	
雑収入	500円	54,633円	54,133円	0円			利息・名簿売上		
計	5,702,285円	5,357,728円	54,133円	398,690円					
3 支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		比 較		説 明	
				増	減				
	会議費	250,000円	51,590円	0円	198,410円			総会補助、役員会費	
	運営費	150,000円	97,240円	0円	52,760円			事務費、通信費	
	活動費	600,000円	480,080円	0円	119,920円			支部活動費、旅費等	
	広報費	2,000,000円	1,821,808円	0円	178,192円			同窓会報発行代	
	雑費	80,000円	26,170円	0円	53,830円			慶弔費	
	予備費	2,622,285円	0円	0円	2,622,285円				
	計	5,702,285円	2,476,888円	0円	3,225,397円				

● 特別会計

1 収入支出対照表		本年度収入総額		本年度支出総額		本年度残額		説明	
		1,793,939円		0円		1,793,939円		翌年度へ繰越	
2 収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比較 (減△)		比較 (減△)		説 明	
	繰越金	1,793,604円	1,793,604円	0円	0円			平成22年度繰越金	
雑収入	2,000円	335円	△1,665円	0円			預金利息		
計	1,795,604円	1,793,939円	△1,665円	0円					
3 支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比較 (減△)		比較 (減△)		説 明	
	繰出金	0円	0円	0円	0円				
予備費	1,795,604円	0円	1,795,604円	0円					
計	1,795,604円	0円	1,795,604円	0円					

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

平成24年8月30日

監事 酒井 太 門
渡 邊 雅 文



いすみ鉄道関連ニュース

38号

千葉県立大多喜高等学校 生徒会・いすみ鉄道対策委員会

平成24年7月19日

明善祭が行われました!!

第35回明善祭が6/23（月）に行われました。今年度は、夷隅地域の振興を兼ねて、県民の日のイベントとタイアップした企画がありました。当日は、事前に応募された約180名のお客様をマンドリン・ギター部と吹奏楽部が、列車内での演奏でもてなす“いすみ鉄道音楽列車”が運行されたり、生徒会のみなさんが作成したマップで、大多喜駅・駅前観光本陣・大多喜城分館・本校展示室に掲示された問題を解いていくウォークラリーが行われたりしました。

また、いすみ鉄道対策委員会の展示室では、いすみ鉄道の現状と歴史、いすみ鉄道関連ニュースの紹介、い鉄グッズの販売などを行い、大盛況でした。ご来場の皆さんありがとうございました。



い鉄関連ニュースの配布について

校内の生徒、保護者向けに配布していた“いすみ鉄道関連ニュース”が町内の公共施設や駅舎、いすみ鉄道の車両内に設置することになったことは、前号で紹介しましたが、そのときの様子が、新聞に取り上げられました。

これまでの本校が取り組んできた駅清掃・看板やパネルの制作・花壇設置などのいすみ鉄道支援活動などが紹介されています。これからも、いすみ鉄道対策委員会を中心に様々な活動を行っていきます。みなさん御協力お願いします。



マンドリン・ギター列車が走りました。

6月10日(月)、マンドリン・ギター部によるマンドリン・ギター列車演奏会が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くのお客様が乗車してくださいました。

21曲の演奏の他に、アンコール演奏やマンドリン体験などもあり、車内は温かな雰囲気に包まれました。また来年も企画を楽しみにしています。マンドリン・ギター部のみなさんありがとうございました。



アテンダント体験のお知らせ

この夏休みの間に、いすみ鉄道でアテンダント体験をしてみませんか。これは、6月に行われた中高生いすみ鉄道プロジェクト会議で生徒のみなさんから提案が出され、いすみ鉄道の鳥塚社長の協力で企画されたものです。将来、交通関係に就職を希望している人、アナウンスや販売などの業務に興味・関心のある人を募集しています。詳細は担任の先生を通じて告知があります。ぜひ応募してみてください。概要は以下のとおりです。

- 〔募集人数〕 1～2名程度
 - 〔実施日時〕 7月28日(土)、8月5日(日)
(午前中のみ 9:00～12:30)
 - 〔活動内容〕 車掌業務
(アナウンス・車内販売・切符挟入れなど)
 - 〔応募締切〕 7/20(金)まで
- ※詳細を聞きたい場合は、竹山先生・森田先生のところまで来てください。

▷第13回中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議の様子6/6 大多喜高校会議室にて



アテンダント体験を実施!!

今年の夏休みに、初めての企画の“アテンダント(車掌)体験”を実施しました。これは前号でも報告したように、6月に行われた中高生いすみ鉄道プロジェクト会議で生徒のみなさんから提案が出され、いすみ鉄道の鳥塚社長の協力で企画されたものです。

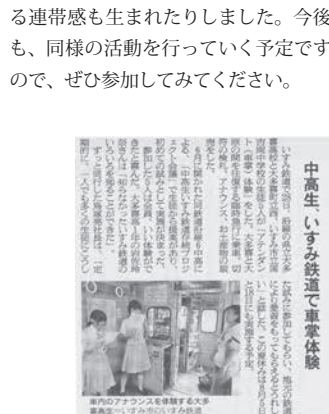
この初めての企画では、これまでのいすみ鉄道支援活動を行ってきた沿線の大多喜中学校・西中学校・国吉中学校・大原中学校の生徒のみなさんと一緒に活動を行い、本校からも5名の希望者が参加しました。

当日は、アナウンス・検札・車内販売・安全確認などの業務を行いました。私たちは普段はただ乗車するだけだったので、実際に列車を運行するための業務やその苦勞を知ることができました。アナウンスでは原稿を何度も読み返し、聞き取りやすい声量を心掛けました。

また、近隣の中高生と一緒に活動することで、さらにいすみ鉄道支援のアイデアが生まれたり、これからも協力して支援活動に取り組もうとする連帯感も生まれたりしました。今後も、同様の活動を行っていく予定ですので、ぜひ参加してみてください。



△8/6 千葉日報



△7/29 朝日新聞

お城まつりの御案内!!

第38回大多喜お城まつりが9/29(土)～30(日)(雨天中止)に開かれます。大多喜の秋を彩る「大多喜お城まつり」は昭和50年に県立総南博物館(現・千葉県立中央博物館大多喜分館)が大多喜城本丸跡に建設されたことを記念し開催されたのが始まりで、今年で38回目となります。

お祭り当日は、徳川家康公の関東入国に際し10万石を与えられ大多喜城主となった本多忠勝侯一行による武者行列のほか、前夜祭では城下町通りの光アート展など、イベントが盛りだくさんです。いすみ鉄道を利用して、お城まつりを見に来ませんか。

- 生徒会による観光ボランティア
大多喜駅前にていすみ鉄道をご利用のお客様(先着200名)に抽選券を配布し、抽選会のお手伝いを行います。
9:00～ 大多喜駅前
- 茶道部によるお茶会
茶道部のみなさんによるお茶会が開かれます。
10:00～ 大多喜分館研修室
- 吹奏楽部による演奏
12:10～ 大多喜小学校グラウンドにて演奏



△写真は去年の様子です

今年度の取組を振り返って!!

▽今年度のい鉄清掃の様子



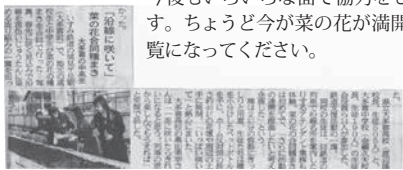
今年度の最後の「い鉄清掃」が行われました。今年は、各駅の駅舎清掃のほかにも、大多喜駅に留置してある列車の窓を拭いたり、列車内の手すりや窓ガラス拭き、駅構内やホームの掃き掃除などを行いました。今年度の清掃活動は全部で10回にわたりましたが、各学級の担当のみなさんや先生方のおかげで清掃活動に取り組むことができました。御協力に感謝いたします。来年度も積極的に「い鉄清掃」などの大多喜高校独自のいすみ鉄道支援活動に取り組んでいく予定ですので、みなさん御協力をお願いいたします。



菜の花の種まき with 大多喜中学校!!

10月16日(火)に大多喜中学校の生徒会のみなさんと一緒に城見ヶ丘駅の花壇の草取りと菜の花の種まきを行いました。今年度はいすみ鉄道存続プロジェクト会議に参加している各学校と連携を深めた取組を行っており、種まきもその一つです。大多喜中学校の生徒のみなさんもこれまでに積極的な支援活動を行っており、

今後もいろいろな面で協力をしていきたいと考えています。ちょうど今が菜の花が満開に咲いています。ぜひご覧になってください。



お城まつりに参加しました!!

第38回大多喜お城まつりが9/29(土)~30(日)に開かれました。大多喜の秋を彩る「大多喜お城まつり」に、各地から観光客が訪れました。また、大多喜高校の生徒会・いすみ鉄道対策委員会・吹奏楽部・茶道部などが、この行事に協力しました。



生徒会・いすみ鉄道対策委員会は、大多喜駅にて抽選会のお手伝いをさせていただきました。これはいすみ鉄道を利用された方に福引を実施するというもので、当日の大多喜駅は大変多くのいすみ鉄道利用者が訪れました。列車から降りられた利用者に抽選券を配布し、大多喜駅前の入り口付近で福引と景品の受け渡しを行いました。



地域の方々と協力して行事に取り組むことで、地元可愛される大多喜高校となるにちがひありません。いすみ鉄道の支援活動と同じく、地域とともに歩む大多喜高校を目指したいと思っています。

支援活動のアイデア募集中!!

大多喜高校生徒の通学の足として、大切な地域の交通手段として、これからもいすみ鉄道支援活動を継続していきたいと考えています。大多喜高校生徒会・いすみ鉄道対策委員会では、いすみ鉄道支援プロジェクト会議などを通して、さまざまな支援活動を提案していく予定ですが、生徒のみなさんから何かよいアイデアがあれば、各学級のいすみ鉄道対策委員にお伝えください。みなさんの意見をお待ちしています。

▽今年度から始まったアテンダント体験は、生徒のみなさんからのアイデアによるものでした。花壇の植栽活動、清掃活動など、私たちができることややってみようなどあればご意見をください。



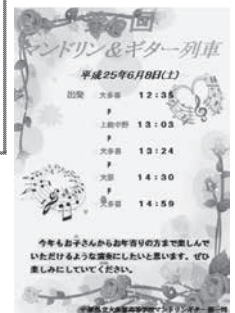
今年度の取組について

今年度も大多喜高校生徒会・いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道への支援活動を積極的に行っていきます。昨年度は、駅舎清掃・車両清掃、い鉄存続プロジェクト会議、各種行事への参加などに加えて、アテンダント体験、大多喜中学校と合同菜の花の種まき、い鉄関連ニュースの列車内掲示など様々な活動を行いました。その活動の取組の様子が各種メディアでも紹介されたのは、みなさんご承知のことと思います。これまでの取組をさらに発展させるために、今年度も継続した取組を行っていきます。大多喜高校の生徒・保護者・先輩の皆さん、地域の方々、関係する多くの皆さんのこれまでの御協力に感謝するとともに、これからも引き続き、御協力をよろしくお願い致します。

マンドリン・ギター列車のお知らせ

いすみ鉄道の列車に揺られながらマンドリンの音色の響きに耳を傾け、車内の皆さんと一緒に歌を口ずさみながら楽しいひと時を過ごす、マンドリン・ギター列車が今年も走ります。

【列車時刻】	
12:35大多喜発	→ 上総中野着
13:03上総中野発	→ 大原着
14:30大原発	→ 14:59大多喜着
【おすすめの曲目】	
①丘を越えて	④私のお気に入り
②チェリー	⑤君をのせて
③カントリー・ロード	
全21曲の演奏予定です。	



い鉄清掃について

①担当クラス・実施日時・乗車時刻

	大多喜駅	小谷松駅	東総元駅	総元駅
往路(上総中野行き)→	15:59	16:02	16:05	16:10
復路(大原行き)←	16:46	16:42	16:39	16:34
5月28日(火)	3A	2A	1A	生徒会
6月25日(火)	3B	2B	1B	生徒会
7月16日(火)	3C	2C	1C	生徒会
9月10日(火)	3D	2D	1D	生徒会
10月17日(木)	3A	2A	1A	生徒会
11月19日(火)	3B	2B	1B	生徒会
12月13日(金)	3C	2C	1C	生徒会
1月14日(火)	3D	2D	1D	生徒会
2月17日(月)	1B	2B	1D	生徒会
3月14日(金)	1A	2A	1C	生徒会

- ①集合 15:40 中庭倉庫前
- ②準備 倉庫内の清掃用具を用意
※小谷松駅・東総元駅ポリタンク持参
- ③箇所 駅舎・ホーム周辺の掃き掃除
※ベンチや窓ガラスの水拭き
※線路内へは立ち入らない
- ④注意 列車が接近したら清掃をやめ安全な場所へ
- ⑤雨天 基本的に延期する
※朝または帰りのHRで連絡



日には6月8日(土)です。今年は運行の時間が異なりますのでご注意ください。今年で6回目となる恒例の行事です。列車に揺られながらマンドリンの響きをお楽しみください。

- ②担当の先生方 大多喜駅(高梨先生) 小谷松駅(菅根先生) 東総元駅(鈴木先生) 総元駅(森田先生)
各担当クラスの学級担任か副担任の先生
- ③その他 ●半日課の場合は、その都度連絡します。 ●場合によっては、列車清掃に代替することがあります。

「道徳教育」の研究指定を受け ～公開研究授業～

千葉県では、平成25年度から高等学校において年間35時間の道徳の授業が始まりました。道徳の授業は、1年次のロングホームルーム10時間、総合的な学習の時間11時間、学校行事14時間が配当され、各学校や生徒の実態、地域の実情に合わせて、道徳を学ぶ時間の年間指導計画が各学校で作成されています。

本校は千葉県教育委員会より「平成24年度道徳教育読み物教材活用推進校」の指定を受け、全校全職員の協力のもと研究推進を行ってまいりました。本校のこれまでの道徳教育における取組や公開授業を紹介し、新しく始まる高等学校における道徳教育の在り方について報告いたします。

公開日時	平成24年11月8日(木)		
	14:15～15:05		
主題名	「かけがえのない自分、自主・自立」		
資料名	「しかし今、私には夢がない」 (出典「いろは出版」)		
展開学級	1学年4学級		
	A組	菅根 彰宏	教諭(本校 平16高卒)
	B組	森田 圭一	教諭・道徳教育推進教師 (本校 平7高卒)
	C組	遠藤 明子	教諭
	D組	酒井 宣浩	教諭

当日は、県内高等学校、小中学校、教育委員会など各方面から多くの先生方が参観のために来校してくださりました。指導助言者として、千葉県教育庁教育振興部教育課程室指導主事：小高健志先生(本校 昭55高卒)、千葉県教育庁東上総教育事務所指導主事：伊坂文寿先生、千葉県総合教育センター研究指導主事：高山芳久先生、麗澤大学准教授：大野正英先生をお招きいたしました。

○単元内容

資料の内容は、夢や進路について悩む高校3年生が、周囲の友達と比べたり、これまでの夢を振り返ったりすることで、現実の生き方を省みるものでした。同世代の高校生が感じている将来についての悩みや不安を共有し、目標に向かって生きることはどういう意味かについて考えました。導入部では、小学生

の頃に抱いた夢をもとにして、高校生となった今各自が抱いている夢との相違について考え、展開部では教材を読み、夢が消えてなくなってしまった主人公が、決して諦めずに夢を見つけるための努力をし、他人に流されずに自分の力で道を切り拓こうとする姿勢の大切さを考えました。ここでは4人グループをつくり、互いの意見を伝え合う活動に重点を置くことで、各自の思いや考えをより深く理解し合うことができました。終末では、学級担任から生徒へあてた手紙を読み、夢を持つこと以上に、夢に向かっていかに努力をすべきかが重要であり、夢を持つためにも自分の可能性の幅を広げることが大切であると訴えかけました。

○参観者や生徒の感想

生徒たちは、次のような感想をもちました。“一度きりしかない、この私の人生。無駄にしたくないという思いを強く持った。今やっていることを本気で悔いのないようにしようと思う。”、“自分の夢に向かって自分は努力をしているのかと不安になった。” “自分はまだ将来について真剣に考えていないと改めて思った。将来どんなことをしたいのかを「なんとなく」ではなく、可能性を信じて将来について考えていきたい。”

また、当日は多くの参観者が来校してくださり、「教材を読ませ、各自にフィードバックさせる手法がよくできていた。」「生徒指導の機能を生かした授業の推進という点で、高校の道徳の授業のなかに教師と共感的人間関係に基づいた生徒一人一人に自己決定の場を与え自己存在感を与える機能がしっかりと生かされていた。」などのような批評をいただきました。

○研究の成果

県内のみならず全国的な教育誌などでも取り上げられたり、他県からの視察などもあり、反響の大きさに驚きました。それと同時に、大多喜高校の生徒一人一人が持っている豊かな心の広がりを感じました。グループ活動を行う場面では、熱心に意見交換を行い、お互いの意見を尊重しながらまとめる場面も見られました。これは、大多喜高校の長い歴史と伝統によって、先輩方から引き継がれてきた気質が今なお後輩たちに脈々と流れていることの証であると実感しました。

今年度も継続して、千葉県教育委員会より「道徳教材活用推進事業」、文部科学省国立教育政策研究所より「学習指導実践研究協力校事業」の指定を受け、10月3日(木)に公開授業を行います。多くの皆様の参観をお待ちしております。

(文責 森田 圭一 平7高卒)



部活動状況

卓球部
平成25年
関東高等学校卓球大会
女子団体出場



陸上競技部
平成25年
関東陸上競技800メートル出場
井上美佳

美術部
平成25年
第37回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門 古市愛莉
鶴岡夏帆



生物部
平成25年
第37回全国高等学校
総合文化祭
自然科学部門



		男	女	計			男	女	計
体育系部活動	柔道	4	0	4	文化系部活動	生物	13	0	13
	剣道	15	13	28		美術	4	20	24
	陸上競技	15	9	24		書道	0	17	17
	弓道	24	20	44		マンドリン・ギター	6	13	19
	野球	35	5	40		文芸	2	1	3
	ソフトテニス	16	6	22		演劇	4	10	14
	バレーボール	11	19	30		英語	1	12	13
	バスケットボール	13	7	20		吹奏楽	3	35	38
	サッカー	15	5	20		茶道	0	19	19
	卓球	8	8	16		同好会	0	21	21
					華道同好会	0	21	21	
					料理同好会	0	8	8	
					合計	189	248	437	

24年度進路状況報告

進路指導主事 佐藤幸生

2012年度入試を振り返ると・・・
今春は18歳人口が久々に大きく増加した年で、それに伴い大学志願者数が増加しました。18歳人口は前年の119万人から4万人増加し123万人となりました。これに伴って、大学志願者数も前年の66万人から68万人へと約2万人増加した見込みです。1月に実施されたセンター試験の受験者数も、前年から約1万8千人増加（前年比103.2%）しました。

センター試験の総合平均点は3年ぶりにダウンしました。前年と比べると「数学Ⅰ・A」が19点ダウン、「国語」が17点ダウンした影響が大きくなっています。とくに、国語はセンター試験始まって以来、最も低い平均点となりました。

理系生の増加は、今春入試も続いており、ここ数年の「文低理高」の傾向を生み出しています。

経済環境は決して好転しているとはいえ、ここ数年の入試では「家計」を意識した動きが鮮明に出ています。今春入試においても同様で、入学後の下宿費用などを考慮して、自宅から通学可能な大学を選択する「地元志向」は継続しています。とくに、地方から首都圏の大学を選ぶ動きが鈍っています。また、確実な合格をめざすとともに、ひとつ上をめざすチャレンジ校の受験を控える「安全志向」は、今春入試でも感じられます。

最後に大高生の大学受験についてですが、この春大学に進学した106名のうち、一般受験によるものは24名で、残りの82名はAO入試あるいは推薦入試による進学です。一般受験による大学進学者を増やすことが今の大高の大きな課題となってきています。

昨年度の本校の進路指導の概要

- 進路説明会〈3年〉4月
外部講師等による分野別（大学・短大・専門学校・就職など）進路説明
- 予備校「夏期・冬期・センター直前講座」出前授業
受験対策としての大手予備校講師による授業
- 大学見学会（バス）7月
Aコース（早稲田大学・千葉大学）
Bコース（東京理科大学・国学院大学）
- 看護体験 7・8・11月
鶴舞看護専門学校、いすみ医療センター、公立長生病院、大多喜病院、茂原中央病院、塩田病院他
- 大学出張講義体験会 11月

- 神田外語大・日本大・専修大・昭和女子大・東京電機大・千葉県立保健医療大等の講義
- 保護者進路説明会 12月
講演 駿台千葉校 中村悟一氏
 - 分野別進路説明会〈2年〉12月
外部講師による分野別（大学・短大・公務員・各種専門学校）の進路説明
 - 進路報告会 3月
卒業生の体験談ほか
（筑波大、千葉大、茨城大、千葉県立保健医療大、法政大、学習院大、日本大、東洋大、津田塾大、大妻女子大他）

◇平成24年度卒業生主な進学先〔4年制大学〕

筑波大、千葉大、茨城大、北見工大、千葉県立保健医療大、明治大、中央大、法政大、学習院大、東京理科大学、日本大、東洋大、駒沢大、専修大、津田塾大、国学院大、順天堂大、東邦大、武蔵大、東京農業大、亜細亜大、文教大、北里大、玉川大、神田外語大、独協大、大妻女子大、共立女子大、女子栄養大、千葉工業大、淑徳大、立正大ほか

〔短期大学〕

青山学院女子短大、立教女学院短大、共立女子短大、実践女子短大、千葉敬愛短大、植草学園短大ほか

〔専門学校〕

千葉県立鶴舞看護、千葉労災看護、千葉市立青葉看護、中央医療技術、昭和医療技術、首都医校ほか

〔公務員・民間就職〕

勝浦市役所、陸上自衛隊、亀田総合病院ほか

◇平成24年度卒業生（平成25年3月卒業）進路状況詳細

種別 性別	大学		短大		専門 学校	就職		浪人 ・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員		
男	3	51	0	0	17	0	2	14	87
女	2	50	0	13	27	3	0	3	98
計	5	101	0	13	44	3	2	17	185

事務局だよ!

●平成24年度 年度末人事異動について

年度末の人事異動で、次の方々が退任・転任・転入されました。

《退任された先生方》

齋藤 恵子 (事務長) 平成24年より1年間

弓能家雅宣 (保健体育) 平成18年より7年間

《転任された先生方》

渡邊 隆 (校長) 平成23年より2年間、県立長狭高校へ

川上 正治 (保健体育) 平成18年より7年間、県立安房高校へ

清水 義久 (数学) 平成13年より12年間、県立袖ヶ浦高校へ

水鳥 由美 (英語) 平成16年より9年間、県立東金高校へ

宇野 正浩 (地歴・公民) 平成21年より4年間、県立茂原樟陽高校へ

松井 貴人 (保健体育) 平成19年より6年間、教育庁教育振興部体育課へ

《本校に転入された先生方》

石川 和之 (校長) 県立泉高校から

安田 英俊 (事務長) 県立市原特別支援学校から

木嶋 弘士 (保健体育) 県立東金商業高校から

鈴木 基悦 (数学) 県立勝浦若潮高校から

高梨 義弘 (保健体育) 筑波大学から

村松 久子 (家庭) 本校から

東條木綿子 (ふくろく) 本校継続

渡辺 清美 (学校技職員) 県立長生特別支援学校から

野口 拓也 (学校技職員) 県立夷隅特別支援学校から

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓生の皆様からの寄稿をお待ちしています。あるいは、原稿をお願いできる方をご推薦ください。

●会報維持費のお願い

第6号より年1回の定期的発行となり、皆様方から会報維持費として1口千円でご協力をお願いしております。昨年は、904名より1,530,120円の維持費(振込額から料金を差し引いた金額)が送られて来ました。本当にありがとうございました。1号発行するためには、約180万円かかります。会報の発行は皆様の会報維持費と広告料で成り立つものです。是非とも賛助金のご協力をお願い致します。

●振り込め詐欺被害にご注意ください

勝浦警察署から担当者が来校され、同窓生の親御さん、特に50歳から70歳前後の方が被害に遭われているとのことでした。

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	山口 登 (昭37高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	猿田 寿男 (昭42高)	
	櫻井 榮子 (昭29女)	
	稲村千代子 (昭35女)	
監 事 (会計監査)	酒井 太門 (昭41高)	
	渡辺 雅文 (昭43高)	
顧 問	小高 芳男 (昭22中)	
	齋藤 萬祐 (昭32高)	
支 部 長	大多喜	田辺 弘一 (昭34高)
	大 原	五十嵐一郎 (昭7中)
	勝 浦	岩瀬 義信 (昭34高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	太田 雅晴 (昭42高)
	女子高	櫻井 榮子 (昭29女)

【支部長は各支部で選出いただいています。】

平成25年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 **10月27日(日)** 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性 8,000円 女性 5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621

(大多喜高校内・同窓会事務局)

トピックス

平成24年度

- 1 勝浦大高会よりいすみ鉄道対策費として5万円の寄付を頂きました。
- 2 大多喜高校のいすみ鉄道対策が各種メディアに取り上げられました。

平成25年度

- 3 本年度より2期制から3学期制になりました。
- 4 4月7日に、4クラス普通科163名が入学いたしました。本年度より全クラス普通科12クラスになりました。
- 5 平成24年度に勝浦大高会より頂きたいいすみ鉄道対策費の5万円を明善祭のいすみ鉄道関連コーナーの準備費として使用させて頂きました。
- 6 道徳教育研究指定校として5月2日に公開授業を実施しました。各種メディアに取り上げられました。また、文部科学省審議官が道徳授業を6月27日に参観しました。